# 第3章 演算子

### 目次

- ・演算子とは
- 算術演算子
- 単項演算子
- 代入演算子と複合代入演算子
- 関係演算子
- 論理演算子
- null比較

### 演算子とは

• Java言語で足し算や掛け算などの計算を行う場合に使用する

演算子	結合規則	優先順位	
(引数) [配列添字] . ++(後置き)	左→右	高	
! ~ + -(単項演算子) ++(前置き)	<b>+</b> \+	<b>A</b>	
new (型)	右→左		
* / %			
+ - (算術演算子)			
<< >> >>>			
> >= < <= instanceof			
== !=	左→右		
&	474		
٨			
1			
&&			
11			
?:	±\±	<b>*</b>	
= ope=	右→左	低	

※ ope=(は「+=」「-=」「\*=」「/=」「%=」「<<=」「>>=」「>>=」「&=」「|=」「^=」のこと

### 算術演算子

演算子	機能	書式	意味
+	加算	a+b	aとbを加える
	減算	a-b	aからbを引く
*	乗算	a*b	aとbを掛ける
/	除算	a/b	aをbで割る
%	剰余	a%b	aをbで割った余りを求める

〔注〕 剰余を求める場合は、aとbは整数である必要がある。

### 演算子の使用例

```
public class Main {
   public static void main(String[] args) {
       System.out.println(10/3.0);

       System.out.println(10 % 3);
       }
}
```

- ・整数/浮動小数点数の結果は浮動小数点数となる
- ・%は余りを求める演算子なので「1」となる

### 演算子による数字と文字列の処理

```
4  public class Main {
5     public static void main(String[] args) {
6         String str = "Hello";
7         int a = 10;
8         int b = 20;
9
10         System.out.println(str + a);
11         //$ystem.out.println(str + a + b);
12     }
13  }
14
```

```
●実行 (Ctrl-Enter) -
出力 入力 コメント ①
Hello10
```

```
System.out.println(str + a);
System.out.println(str + a + b);
```



### 演算子による数字と文字列の処理(2)

```
System.out.println(str + a);
System.out.println(str + a + b);
System.out.println(str + (a + b));
```

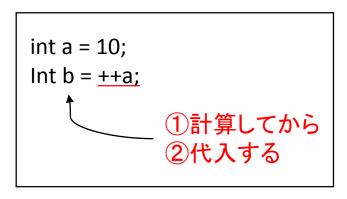
- •演算処理は左から行われる
- •()でくくったところから、先に計算される



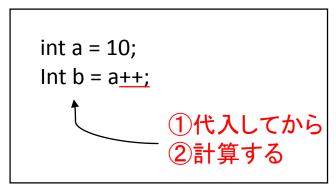
## 単項演算子

演算子	記述例	説明
_	—а	aの符号を反転させる
++	++a,a++	aの値に1を加える
	——a、a——	aの値から1を引く

#### 前置(演算子を変数の前に配置)



#### 後置(演算子を変数の後に配置)



### 单項演算子(2)

++演算子と一一演算子の動作

```
4 public class Main {
5     public static void main(String[] args) {
6         int a =10; int b=10; int c =10; int d =10;
7         System.out.println(a++);
8         System.out.println(++b);
9         System.out.println(c--);
10         System.out.println(--d);
11     }
12 }
13
```



- ・aとcについては、変数値の出力がされてから、インクリメント/デクリメントが行われた
- ・bとdについては、インクリメント/デクリメントが行われてから、変数値の出力がされた

### 代入演算子と複合代入演算子

演算子	記述例	説明	算術演算子での記述
=	a=b	aにbを代入する	
+=	a+=b	aにbを加えた値をaに代入する	a=a+b
-=	a-=b	aからbを引いた値にaを代入する	a=a-b
*=	a*=b	aにbを乗した値をaに代入する	a=a*b
/=	a/=b	aをbで割った値をaに代入する	a=a/b
%=	a%=b	aをbで割った余りをaに代入する	a=a%b

# 関係演算子

演算子	記述例	説明
==	a==b	aとbの値が等しければtrue、異なればfalse
! =	a!=b	aとbの値が異なればtrue、等しければfalse
>	a>=b	aの値がbより大きいならばtrue、以下ならばfalse
>=	a>=b	aの値がb以上であればtrue、小さければfalse
<	a <b< td=""><td>aの値がbの値より小さければtrue、以上ならばfalse</td></b<>	aの値がbの値より小さければtrue、以上ならばfalse
<=	a<=b	aの値がbの値以下であればtrue、大きければfalse

### 関係演算子(2)



・両辺の値が等しいかの比較には==演算子を使用する

# 論理演算子

演算子	記述例	説明
&	a&b	aとbの両方がtrueのときtrue、そうでなければfalse aがfalseであったとしてもbは評価される
& &	a&&b	aとbの両方がtrueのときtrue、そうでなければfalse aがfalseならbは評価されず結果がfalseとなる aがtrueならbも評価され結果を返す
	a b	aとbいずれかがtrueならtrue、そうでなければfalse aがtrueであったとしてもbは評価される
	a  b	aとbいずれかがtrueならtrue、そうでなければfalse aがtrueならbは評価されず結果がtrueとなる aがfalseならbも評価され結果を返す
^	a^b	aとbの値が異なるとき、true、そうでなければfalse
!	!a	aの値がtrueのとき、false、falseのときtrue

### 論理演算子(2)

and条件:2つの条件がともにtrueならば、trueを返す

条件1&条件2

条件1がfalseでも条件2を必ず評価する

条件1&&条件2

条件1がfalseなら条件2は評価しない

or条件:条件のいずれかがtrueならば、trueを返す

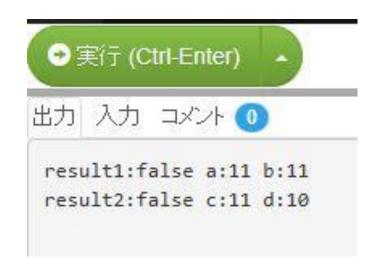
条件1 条件2

条件1がtrueでも条件2を必ず評価する

条件1 条件2

条件1がtrueなら条件2は評価しない

### 論理演算子(3)



組み合わせ	&, &&	
true-true	true	true
true-false	false	true
false-true	false	true
false-false	false	false

### null比較

```
4 public class Main {
5 public static void main(String[] args) {
6    String str1 = null;
7    String str2 ="";
8
9    System.out.println(str1==null);
10    System.out.println(str2==null);
11 }
12 }
13
```



・空文字とnullとは異なり、メモリ領域は確保されている。